



インストールレーションの概要

この章では、Prime Network のインストール プロセスの概要を説明します。

- [インストール オプション \(1-1 ページ\)](#) では、インストール オプションをリストし、各オプションに必要なとなる情報へのリンクを記載します。
- [インストール DVD \(1-2 ページ\)](#) では、Prime Network ソフトウェアが収録されている DVD と各 DVD の内容を記載します。

インストール オプション

Prime Network のインストール プロセスには、Linux 環境に次のコンポーネントをインストールする作業が含まれます。

- ゲートウェイ (組み込みデータベースまたは外部データベースを使用)。ゲートウェイは物理サーバまたは VMware 上にインストールできます。
- 1 つ以上のユニット
- GUI クライアント
- Operations Reports コンポーネント。オプションの Prime Network 拡張機能です。
- Prime Network 統合層 (PN-IL)。PN-IL をインストールすると、Prime Network を Multi-Technology Operations Systems Interface (MTOSI) および 3GPP ノースバウンドインターフェイスで使用できるようになります。Prime Network をスイート モードでインストールして Prime Central に統合されるようにする場合、PN-IL は必須です。

次の表に、各インストール オプションに必要なとなる情報の参照先を記載します。

表 1-1 Prime Network インストール オプションに関する情報の参照先

オプション	参照先
組み込みデータベースを使用する ゲートウェイをインストールする	CLI でインストールする場合:6 章,「CLI を使用した Prime Network ゲートウェイのインストール」 GUI でインストールする場合:5 章,「インストール ウィザードを使 用した Prime Network ゲートウェイとユニットのインストール」
外部 Oracle データベースを使用する ゲートウェイをインストールする	<ul style="list-style-type: none"> 4 章,「Oracle 外部データベースの準備」 CLI でインストールする場合:6 章,「CLI を使用した Prime Network ゲートウェイのインストール」 GUI でインストールする場合:5 章,「インストール ウィザード を使用した Prime Network ゲートウェイとユニットのインス トール」
ローカルでの高可用性または地理的 な高可用性を備えたゲートウェイを インストールする	<i>Cisco Prime Network 4.3.2 Gateway High Availability Guide</i>
ユニットをインストールする	CLI でインストールする場合:7 章,「Prime Network ユニットのイン ストール」 GUI でインストールする場合:5 章,「インストール ウィ ザードを使用した Prime Network ゲートウェイとユニットのインス トール」
Prime Network GUI クライアントを 起動する	13 章,「Prime Network GUI クライアントを起動する」
Prime Network Operations Reports を インストールする	9 章,「Prime Network Operations Reports のインストール」
Prime Network 統合層 (PN-IL) をイン ストールする	10 章,「Prime Network 統合層のインストール」
以前の Prime Network リリースを RHEL 5.5 ~ 5.8、6.4 でアップグレー ドする	11 章,「アップグレードとロールバック Prime Network」
インストール前の作業	2 章,「インストール要件」および 3 章,「取り付けの準備」
インストール後の作業	次の手順(13-1 ページ)

インストール DVD

表 1-2 に、Prime Network 4.3.2 インストール ファイルが収容されている DVD の内容を記載します。



(注)

データベース バイナリ ファイル (linuxamd64_12c_database_1of2.zip、
linuxamd64_12c_database_2of2.zip) は、Prime Network 4.2 DVD に収容されています。Prime
Network 4.0 にアップグレードするために必要なファイルは Prime Network 4.0 DVD から入手で
きます。

表 1-2 Cisco Prime Network 4.3.2 インストール DVD の内容

ディスク	DVD に含まれるコンポーネント
Disk 1: New Install	
Prime Network 4.3.2 ゲートウェイおよびユニットを新規にインストールするためのファイル (Red Hat 高可用性を含む)。	
サーバ	<ul style="list-style-type: none"> • Prime Network 4.3.2 ゲートウェイおよびユニットのインストール ファイル: <ul style="list-style-type: none"> - install.bin (GUI インストール) - install.pl - install.properties - ivne-drivers.tar • RH_ha.zip および install_ha.pl: 高可用性インストール ファイル • jws ディレクトリ
Disk 2: Software and Documentation	
クライアント インストール ファイル	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Prime Network Vision • Cisco Prime Network Administration • Cisco Prime Network Events
統合	<ul style="list-style-type: none"> • スタンドアロンの統合層 ESB tar ファイル (sil-esb-1.9.0.tar.gz) • PNIntegrationLayer_v1.9.bin (GUI インストール)
マニュアル	Cisco Prime Network Documentation Overview, 4.3.2
Disk 3: Upgrade Files 1	
Prime Network 4.0、4.1、4.2、4.2.1、4.2.2、4.2.3、4.3、4.3.1 から 4.3.2 へのアップグレード	<ul style="list-style-type: none"> • アップグレードおよびロールバックの従属スクリプトが格納された Prime_Network_upgrade ディレクトリ • ivne-drivers.tar • PNIntegrationLayerUpgrade_1.0.0.0-1.9.0.tar.gz • embedded_upgrade_12.1.zip
Disk 4: Upgrade Files 2	
Upgrade from Prime Network 4.0、4.1、4.2、4.2.1、4.2.2、4.2.3、4.3 から 4.3.1 へのアップグレード	<ul style="list-style-type: none"> • アップグレードおよびロールバックの従属スクリプトが格納された Prime_Network_upgrade ディレクトリ
Disk 5: Operations Reports	
Prime Network ゲートウェイへの Prime Network Operations Reports および Infobright データベースのインストール	<ul style="list-style-type: none"> • infobright_integ.zip
Disk 6: Database Binaries	
組み込みデータベースのインストール	<ul style="list-style-type: none"> • linuxamd64_12c_database_1of2.zip • linuxamd64_12c_database_2of2.zip

